

1 自分の命を守るために行動できる

小学校 【1年生 国語科 (NIE)】

自分の命を守る

しんぶんきじを よんで、じぶんにできることを かんがえる。

◇本時の目標 7月の西日本豪雨災害の新聞記事を読んで、地域の状況を知り、自分たちにできることを考えることができる。

◇学習の流れ

学習活動	指導上の留意事項 (◇)	評価規準
<p>1 新聞記事の写真を見て、気付いたことを発表する。</p> <p>○どんな様子ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路が見えなくて、泥だらけになっています。 ・線路も泥だらけです。 ・山が崩れて、道路に土が入っています。 <p>2 本時の学習課題を確認する。</p>	<p>◇災害の様子が分かる写真を提示し、状況を捉えられるようにする。</p> <p>◇写真を見て、気付いたことを自由に発言させる。</p> <p>◇事前に自宅が被災していないか等、児童の状況について把握しておき、学習内容が心的ストレスにつながらないように、十分配慮する。</p>	
<p>7がつの おおあめの しんぶん きじを よんで、じぶんに できることはないか かんがえよう。</p>		
<p>3 新聞記事を読む。</p> <p>○新聞記事を読んで、どんなことが分かりますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・220人以上の人が亡くなったことが分かります。 ・1日でたくさんの雨が降ったことが分かります。 ・避難所に避難している人がたくさんいることが分かります。 ・ボランティアをしている人がたくさんいることが分かります。 <p>4 新聞記事を読んで、思ったことや自分にできそうなことはないか考える。</p> <p>○災害が身近なところで起きたけれど、自分たちにできそうなことはありませんか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この写真みたいに、家の近くの川の水があふれて、道路の泥をきれいにするのが大変でした。 	<p>◇新聞記事の内容は難しいので、教師が読みながら内容を簡単に説明する。</p> <p>◇内容が理解できない児童には、書いてある部分を指しながら説明したり、写真で補足したりしながら個別指導をする。</p> <p>◇自分の体験と結び付けて考えさせるようにする。</p> <p>◇ボランティアに参加している人たちやプロスポーツ選手たちが行動を起こしている写真等から、自分にもできそうなことを考えさせる。ボランティアに参加する等の行動面ばかりではなく、黙祷をささげる等、相手のことを思う心情からも考えられるよう</p>	

<p>他の地域でも、みんなで協力してきれいにしているんだなと思いました。私もボランティアに参加したいと思いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私の家は大丈夫だったけど、テレビで見たときびっくりしました。家に帰ったら、避難場所を確認しようと思いました。 <p>5 本時の学習を振り返る。</p> <p>○今日の学習で、思ったことや考えたことを、友達に伝えましょう。</p>	<p>な写真を提示する。</p> <p>◇避難グッズを準備する、避難場所を確認する等、防災面からの考えも発言してよいこととする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞記事をもとに、自分の体験と結び付けて、自分にできることはないか考えている。 <p>[C読むこと オ] (行動観察・ワークシート)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・おおあめで、たくさんのひとがなくなったことがわかりました。わたしのいえは だいじょうぶだったけど、いえのちかくのひなんばしょを かくにんしようと おもいました。 ・わたしの いえのちかくも、ボランティアのひとが たくさんいました。わたしも できることをみつけて ボランティアに さんかしようと おもいました。 		

資料 「新聞記事の写真【ちゅーピー掲示板ニュース7月号, ちゅーピー子ども新聞8月号】」

【参考資料】



「平成 30 年 7 月豪雨による被災状況（水尻川）安芸郡坂町 2018/07/08（県砂防課提供）」



「平成 30 年 7 月豪雨災害ボランティア 2018（広島皆実高等学校提供）」

気象災害への備えについて考える

◇本時の目標 気象災害への備えについて考え、適切な行動がとれるようになる。

◇学習の流れ

学習活動	指導上の留意事項（◇）	評価規準
<p>1 平成30年7月西日本豪雨災害について、知っていることを発表し合う。</p>	<p>・インターネットに接続できる環境を整えておき、生徒の発言に対応した画像を提示できるようにしておく。</p>	
<p>平成30年西日本豪雨災害がなぜ起きたか考え、災害に備えるとともに、適切な行動がとれるようになろう。</p>		
<p>2 平成30年7月6日の天気図を見て、大雨が降った原因を考える。 ○既習事項を活用する。 ○ペアで話し合いをしながら考える。 ○ペアで話し合った後、グループで話し合う。</p> <p>3 考えたことをグループごとに発表し合う。 ○予想される生徒の発言 ・停滞前線が見られる。 ・南からあたたかく湿った風がふいている。</p> <p>4 豪雨災害時広島市安佐北区白木町の三篠川の近くにいた授業者が、川の氾濫からどのようにして逃れたかを考える。 ○平成30年7月6日（金）17時ごろの授業者の状況 「安佐北区白木町の三篠川の側の県道を自動車で行く。川が氾濫しそうであることが確認できたが、</p>	<p>・天気図を生徒一人一人に配付する。雨雲レーダーのG I Fアニメーションを大型テレビに提示する。 ◇事前に災害に遭ったり、関係したりした生徒がいないか、確認しておく。 ◇教科書やノートを活用するよう支援をする。</p> <p>・大型テレビに映した天気図等を使って発表させる。</p> <p>・平成30年7月6日（金）17時ごろ、授業者が渋滞で動けなくなった自動車の中から撮影した氾濫しそうな関川（三篠川の支流）の動画を見せる。 ・氾濫した後の写真を提示する。</p>	<p>・既習事項を用いて、大雨の原因を考えようとしているか。 〔思考・表現〕 （ワークシート）</p>

<p>渋滞して動きが取れない。川はその後氾濫するが、授業者は被害に遭うことなく帰宅できた。」</p> <p>○予想される生徒の発言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車から降りて避難した。 ・川が氾濫する情報が入った。 ・道を変更した。 <p>5 実際に授業者が行ったこと、体験したことを聞く。</p> <p>6 平成30年7月5日、6日の1時間あたりの降水量のグラフから、どの時点でどのような行動をすべきだったか考える。</p> <p>○予想される生徒の発言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一番雨が強くなる前の7月6日16時の段階で川に近づかない。 ・そもそも外出しない。 ・これだけでは判断できない。 <p>7 他のどのような情報を参考に調べれば、適切な行動することができるか考える。</p> <p>8 本時の学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気象庁が発表している警報や特別警報、注意報など、さまざまな情報を利用して、災害の発生に備えておくことが重要であることを確認する。 	<p>◇災害時のことを想定し、あえて自分一人で考えるよう指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川は氾濫すると判断し、渋滞していない川の上流方向に自動車を進めたことを紹介する。 <p>◇その時点の雨の様子だけなど1つの情報だけでは、判断することが難しいと感じ取らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月6日15時55分の段階で、三篠川の氾濫警戒情報が出され、氾濫危険水位を超えていたことなどをその日に出された情報を紹介し、情報を活用することの大切さに気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・早めに判断し、行動に移すことの大切さを理解できたか。 <p>[知識・理解]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気象データをもとに、適切な判断ができたか。 <p>[思考・表現] (ワークシート)</p>
---	---	---



つながり・発展

学んだ事を地域と合同で実施する地域合同防災訓練で発表するとともに、各家庭で大雨に備えてできることは何か考える。

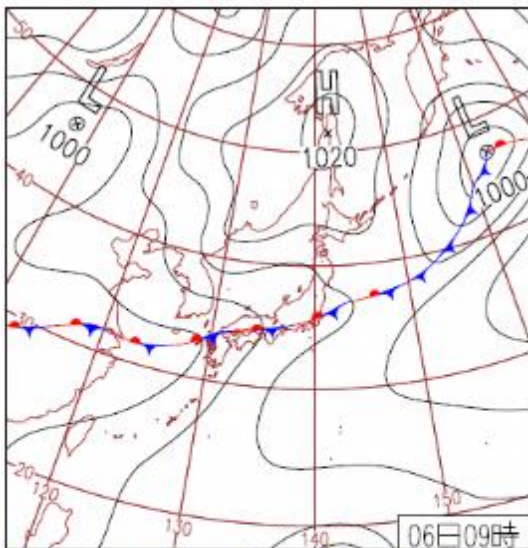
- 資料 ①平成30年7月6日の天気図（気象庁ホームページより）
- ②平成30年7月5日～7日の降水量のグラフ（気象庁ホームページより）
- ③平成30年7月5日～6日の雨雲のようすのG I F動画（気象庁ホームページより）
- ④安佐北区白木町三田三篠川の氾濫後のようすの写真
- ⑤平成30年7月6日17時ごろの三篠川支流関川のようすの動画（授業者本人撮影）
- ⑥ワークシート

理科 プリント 「気象災害への備えについて考えよう」

中学校 2年 () 組 () 番 氏名 ()

1 平成30年7月におきた西日本豪雨災害について知っていることを書きだしてみよう。

2 平成30年7月6日の天気図を見て大雨が降った原因を考えよう。



6日(金)西日本に大雨特別警報

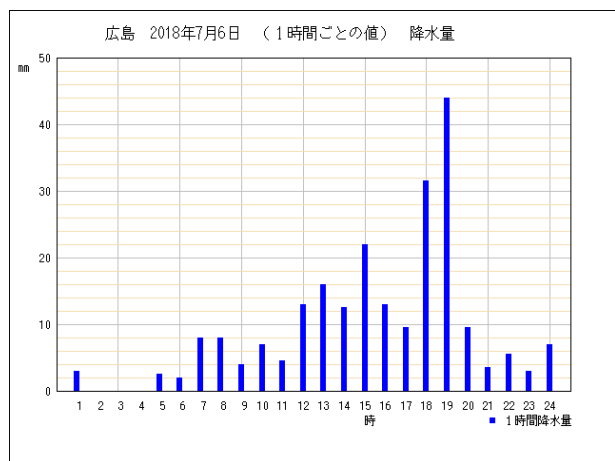
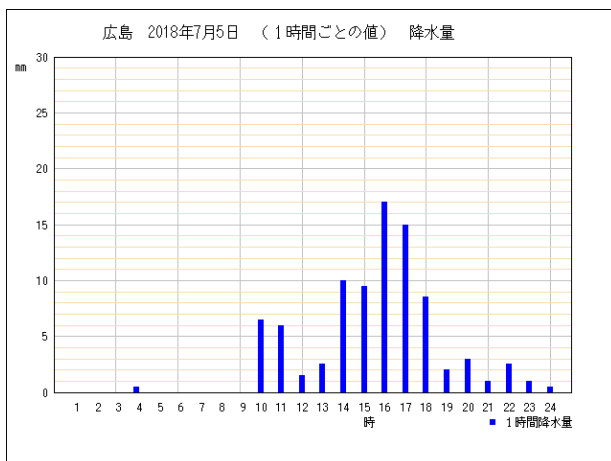
長崎・佐賀・福岡・広島・岡山・鳥取・兵庫・京都の8府県に発表。本州付近に停滞する前線の活動が活発。日降水量、高知県本山510.5mmは観測史上1位の値、佐賀県北山でも422.5mm。

3 先生は平成30年7月6日17時ごろ、氾濫しそうな川の側で、自動車を運転していて渋滞にあい、動けなくなりました。そのまま自動車の中にいたら、川の氾濫に巻き込まれていましたが、自分自身も、自動車も無事帰宅することができました。先生がそのときとった行動は何だったか考えてみてください。



もし自動車の中に残っていたら左の写真のような状況にあっていました。

4 下のグラフは平成30年7月5日と6日の広島市の降水量のグラフである。このような状況の時、どの時点でどのような行動をとるべきだったのだろうか、考えてみよう。



特別支援学校 中学部 【特別活動】

自分の命を守る

大雨・浸水時に身を守るための行動を知る。

学部・学年・類型	中学部 1年・肢体不自由部門Ⅱ類型	場所	中学部学習室
教科・領域名等	特別活動		
単元・題材名	「防災教育（浸水・大雨）」		
個々の目標	防災や災害時に身を守るための行動を知り，対処する意識を持つ。		
学習の流れ	指導上の支援及び留意点 ☆評価	準備物	
1 あいさつ	◇姿勢を確認し，これから授業を開始することを意識させる。		
2 本時の学習内容確認	◇授業の流れを視覚的に提示，説明し，授業内容に関心を持たせる。		
3 目標	◇本時は災害時に自分の身を守る行動を知り，対処する意識を持つことを目標することを確認する。		
4 自然災害について知る	◇これまでに起こった災害について，映像や写真を用いて，説明する。身近な場面で起こることや災害の恐ろしさを意識させる。	iPad 新聞記事	
5 対処の方法を知る	◇災害時の対処方法についての○×クイズに答えることで大雨，雷，竜巻から身を守る方法を知る。 ◇自分の生活と結びつけて，自分ができていることを考え，ワークシートに記入させる。	ワークシート （気象防災ワークシート～気象庁）	
<ul style="list-style-type: none"> ・災害時における車いすの移動について注意するポイントを知る。 ・マスクやヘルメットを身に付けたり，車いすの移動が難しい時は大人に助けを求め，必要な支援を伝えることを知る。 ・マスクをつけるときは，生徒の呼吸状態に注意する。 			
6 振り返り	☆自分の生活と結びつけて，自分ができていることを考えている。 ◇本時の目標を達成できたか確認する。		
7 あいさつ	◇姿勢を正し，授業の終了を意識させる。		
気づき・課題	<p>これまでの生活経験の中で生徒自身が危険を認識，経験することがなかったようだ。本時の学習としてだけで終了しないように，日々の生活の中で意識できる環境や情報を提供していく必要がある。</p> <p>次時へ向けた改善点 今後の地震，火災についての防災訓練に向けて，生徒の生活環境に即して，その中に潜んでいる危険な状況を挙げて，対処方法に結び付ける学習内容を設定していく。</p>		